

事 務 連 絡  
平成 2 2 年 1 2 月 2 0 日

(社)岡山県医師会 御中  
(社)岡山県病院協会 御中  
(社)岡山県獣医師会 御中

岡山県保健福祉部健康推進課

動物園飼育鳥類(富山県高岡市)における高病原性鳥インフルエンザの  
疑い事例について(情報提供)

このことについて、厚生労働省から別添のとおり連絡がありましたので、ご了知の上、  
貴会員への周知についてよろしくお願いいたします。

また、本通知は、次のホームページに掲載しておりますことを申し添えます。

記

岡山県保健福祉部からの医療安全情報等のお知らせ  
<http://www.pref.okayama.jp/hoken/hohuku/tuuchi/top.htm>

事 務 連 絡

平成22年12月18日

各 

都道府県
政令市
特別区

 衛生主管部（局）感染症担当課 御中

厚生労働省健康局

結核感染症課

動物園飼育鳥類（富山県高岡市）における高病原性鳥インフルエンザの疑い事例について  
(情報提供)

今般、農林水産省より、別添のとおり、富山県高岡市の動物園において飼育されていたコブハクチョウが高病原性鳥インフルエンザに感染している疑いがある旨の発表がありましたので、取り急ぎ情報提供します。(現在、リアルタイムPCR検査において、H5亜型が確認されており、今後、N亜型が決定される予定。)

なお、鳥インフルエンザの人への感染防止に適切な対応がとられるよう、「国内の鳥類におけるインフルエンザ（H5N1）発生時の調査等について」（平成18年12月27日健感発第1227003号）に基づいた対応をお願いします。

**お知らせ**

平成22年12月18日

農 林 水 産 省

**富山県の家きん以外の鳥類における高病原性鳥インフルエンザの疑い事例について**

- (1) 16日、富山県高岡市の動物園で飼養されていたコブハクチョウ2羽が死亡し、うち1羽が県の簡易検査の結果、高病原性鳥インフルエンザに感染している疑いがあることがわかりました。
- (2) 分離したウイルスについて富山県がリアルタイムPCR検査を実施したところ、本日、高病原性鳥インフルエンザウイルスH5亜型陽性であることを確認しました。
- (3) これを受け、高岡市では、死亡したコブハクチョウと同じ堀で飼養されていた鳥を本日中に自主淘汰する予定です。
- (4) なお、富山県が分離したウイルスについては、(独)農研機構動物衛生研究所に送付し、動物衛生研究所において確定診断及び強毒・弱毒タイプの判定を実施する予定です。
- (5) 防疫指針上、家畜伝染病予防法の規制対象である家きん以外の鳥類で強毒タイプの高病原性鳥インフルエンザの感染が確認された場合は、監視区域の設定及び周辺農場の立入検査を行うこととされています。  
富山県は、既に周辺の半径10km以内の家きんの飼養農場の立入調査を実施し、特段の異常がないことを確認しています。

**【参考】****1. 動物園の概要**

高岡古城公園動物園（市営）

所在地：富山県高岡市古城1-6

飼養状況：ハクチョウ等計160羽

**2. その他**

- (1) 家きん卵、家きん肉を食べることにより、鳥インフルエンザウイルスが人に感染することは世界的にも報告されていません。
- (2) 現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれもあることから、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。
- (3) 今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者が根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いします。

**お問い合わせ先**

消費・安全局 動物衛生課

担当者：伏見、山野

代表：03-3502-8111（内線 4581）

ダイヤルイン：03-3502-5994